

もう一度チャレンジ！（家作り★2回目） うさぎぐみ（1月15日）



今日は強くて壊れない壁を作るぞ!!



次は頑張るぞ!

【力を合わせて】

1人で段ボールを持ちながら、テープをちぎったり、貼ったりするのはとても大変。横で見ていた友達が、「持っててあげるわ」と段ボールを持ってくれました。そうしている間に、少し慣れない手つきで、ガムテープをちぎり、くっつけたい所にペタッとスムーズに貼ることができ、子どもたちはとても満足そうでした。【言葉による伝え合い・協同性】

初めて『家作り』をしたときは、作ったその場ですぐに崩れてしまいました。楽しんで作っていましたが、上手くテープが切れない、貼り合わせた壁はグラグラ、憧れの屋根を乗せると、家は一瞬で崩れました。思うように作りたい物が出来ず、くっつけたい所に上手くテープが貼れない…いろいろな問題がありました。

もともと製作が大好きな子ども達。テープを自分で切ったり、はさみを使って好きな形に切ったり、空き箱や画用紙を使って貼り合わせたり、自分の作りたい物を制作しながら、少しずつコツをつかんできました。「どうしたら丈夫な家出来るかな？」子ども達はとても前向きで、次の策を考えました。とにかく

【言葉による伝え合い・自立心・協同性・思考力の芽生え・豊かな感性と表現】



ガムテープが上手くちぎれるようになってきたよ～

【上手になったよ】

以前は、なかなか切れなかったガムテープ。端に少し切れ目を入れると上手く切れる事を覚えました。テープひとつ切るのにも時間がかかりますが、自分で切れるようになり、思い思いの所にテープが貼れることで、達成感が表情からよく伝わってきました。

【思考力の芽生え・協同性・自立心・言葉による伝え合い】

今日の目標の『壁』が出来たところで給食の時間に、「明日も続きしよう～」と、作りかけの家を積み木コーナーに置きました。小さく開けた所から出入りも出来、明日の続きを楽しみにしていました。ところが…思っていたより壁は弱かったようで（牛乳パックを使って内側から補強もしていましたが）飾っていた横で、積み木のタワーが崩れ、その拍子に…作りかけの家の壁が倒れました。子ども達に、「どうしよう、家が壊れちゃったよ？」と言うと、「もう一回やりなoshiana」「修理したら大丈夫」「また明日するわ」と、やはり前向きな子ども達。次はどんな策で家作りが始まるか楽しみです。

【言葉による伝え合い・社会生活との関わり】



三度目の正直？(家作り★3回目)

うさぎぐみ(1月22日~24日)



今日こそ！
丈夫な壁を作るぞ!!

次の策が思いついた子どもたち。

「どうやって家を作ろうか？」と聞くと、「先生！ここにいいのがあるで」と、たくさん集まった『空き箱』に目をつけた子どもたち。

「これ、レンガに似てると思うねん！」と嬉しそうに積んでみたり、「こども園で作った家が壊れてばかりやから、家でも作ってみたで！」と言う子も。確かに、部屋にレンガの写真を貼っているのですが、空き箱は四角くてレンガのようです。早速、段ボールや空き箱を使って壁を作る事にしました。

さあ〜今度こそ、丈夫な壁はできるでしょうか？

【言葉による伝え合い・自立心・協同性・思考力の芽生え・豊かな感性と表現】

レンガの壁は、家から持って来てもらった空き箱や容器を使いました。お菓子の箱やコーヒーの箱、カレーやシチューの箱もあり、子どもたちの会話が弾みました。そして3度目の家作り、現在は壊れず、順調です！



おしゃれでカラフルなレンガの壁が出来ました。



【これでいいかな？】

空き箱と空き箱をくっつけるために、ボンドを塗り、空き箱を並べることに…実際に、レンガを積むところを見たことのない子どもたち。上から下から真ん中から…いろんな所から並べてみて

「こんなんかな？」

「レンガの写真に似てる？」

「ん〜なんかぐちゃぐちゃ…」

写真で見ると上手く並べる事が出来ませんでした。どうするのかと様子を見てみると、箱とは違う小さな容器を取り出して、開いている隙間に埋めていきました。出来た壁を見ると、空き箱やヤクルト容器、お菓子のフタなどで、一面にレンガの壁が完成していました。思い思いに壁を作りながらも、友達にこれでいいかなと確認したり、相手の意見を取り入れようとしていたりする姿がみられました。

【言葉による伝え合い・協同性・思考力の芽生え】



次回…

憧れの屋根に挑戦です★

屋根作りの練習★(憧れの屋根)

うさぎぐみ(1月29日)

運動場で遊んでいると、倉庫の前で子ども達が呼んでいました。見に行ってみるとそこにはソフト積み木とコーナーを使って、家が出来ていました。「先生、家が完成したよ」と嬉しそうな子ども達。よく見ると、その家にはとてもかわいい屋根もありました。「この家すごくいいね、屋根も作ったの？」と聞くと、「うん。小さいけど、たくさん並べたよ～」と積み木の上いくつもコーンが並んでいました。

部屋で作っていた屋根は、一枚の大きな段ボールを乗せて、雨風には強そうだったけれど、強度が弱く、何度も家が崩れていました。子ども達が次に考えた屋根は、小さいパーツを自由に並べて飾る屋根でした。いいアイデアが出たところで、さっそく、部屋に戻り、屋根作りを始めました。憧れの屋根に再挑戦です。

【言葉による伝え合い・自立心・協同性・思考力の芽生え・豊かな感性と表現・健康な心と体】

素敵なアイデア



コーンのかわいい屋根です！



屋根のパーツが出来上がったら、いよいよ壁に屋根を取り付けます。「早く乾かないかな～」とテラスを眺める子ども達でした。先週、作った家の壁はまだ壊れずに部屋の中に立っています。

【あかいろとあおいろときいろ～】

「かわいい色がいいな」

「赤色が好き～」

「青もいいな～」

子どもたちが好きな色を選び、屋根になるパーツに色塗りをしました。事務所から「使っていいよ～」と屋根になりそうな廃材をもらっていたものを使う事に。三角のかわいい段ボールに筆で色をつけました。どの面も同じ色、ひとつずつ違う色…それぞれに屋根を塗りました。かわいい屋根がどんどん出来ていきました。あかいろ、あおいろ、きいろ、むらさき…？オレンジ…？だんだんと色が混ざってしまい、別の色が登場していました。「なんでやる？」不思議に思いながらも、色の変化を楽しみながら、どんどん屋根を塗っていきました。

【言葉による伝え合い・協同性・思考力の芽生え】



ぐるぐる混ぜたら～(えのぐって不思議)

うさぎぐみ(1月29日)

屋根のパーツに色を塗っていた時の事。赤・青・黄しかなかったえのぐ。子どもたちが色を塗っていると、「むらさき」や「オレンジ」色が登場。「すごいな～」「色が変わったわぁ～」と話しながら色塗りを楽しみました。初めの約束で、『同じ色の所に筆を戻してね～』と話していました。約束通り、筆は元の所に戻っていました。が、段ボール上で色が混ざっていった事をきっかけに、子どもたちも色の変化に気づき、色が混ざることを楽しんでいました。

「何で、こんな色になったのかな？」の問いかけに…『ぐるぐる混ぜたから!!』

【言葉による伝え合い・自立心・協同性・思考力の芽生え】

自分たちで「やってみたい」を形にすることは難しかったり、上手いかなかったり。その中で、友達から学ぶ事や、手伝ってもらって出来るようになる事も増えてきました。その中に、たくさんの発見もあり、楽しみながら製作をしています。

ぐるぐる混ぜるだけで色が変わる…?



赤の上に青を塗ったら「むらさき色」に～



【ぐるぐる混ぜたから～】

「え～わからへん」

「勝手に変わったみたい」

「そうや、ぐるぐる混ぜたら変わるんやで」

と、みんなでえのぐを混ぜてみました。が、色は変わらず。

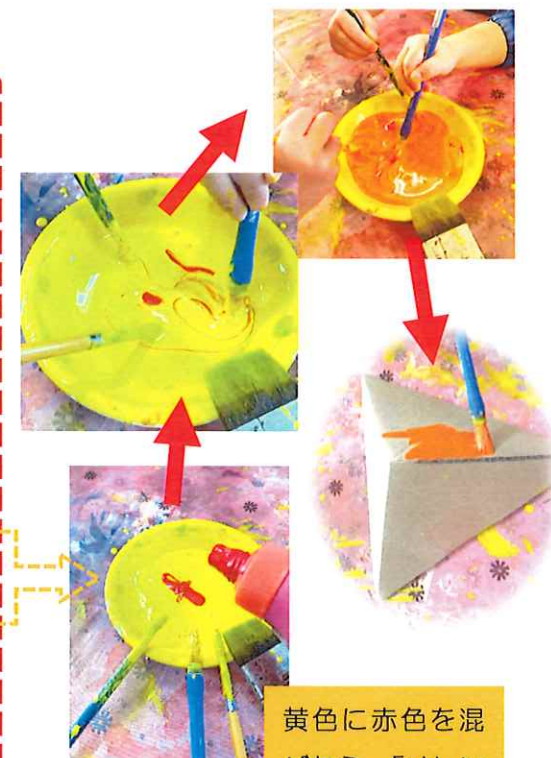
すると、一人の子が

「ぐるぐる混ぜたら虹みたいに混ざって色が変わるねん。赤色と黄色」と話し始めました。周りの子もそれを聞き、

「そうかもしれへん。やってみたい!」という事に。

黄色の中に「赤のえのぐ」を入れて、みんなで混ぜました。虹のように色が混ざってきて、最後は「オレンジ」色に変わりました。「すごいな、本間に変わったな～」「やっぱりぐるぐる混ぜるんやわ!」と色の変化を楽しみました。そのため、出来上がった屋根の色は「あか」「あお」「き」「むらさき」「オレンジ」です。素敵な屋根が出来そうです。

【言葉による伝え合い・協同性・思考力の芽生え・豊かな感性と表現】



黄色に赤色を混ぜたら、「オレンジ」になったよ!

♡憧れの屋根作り♡

うさぎぐみ(1月30日)

やっとここまでできました。

先週、出来た家の壁は一週間たちましたがこわれていません。今日は待ちに待った『屋根作り』です。運動場でも、屋根のシュミレーションをしてバッチリ。みんなで屋根作りを始めました。

「ここがいいな～」

「こうやって並べたらかわいいかも」

「屋根と壁とをテープで貼ったらいいんじゃないかな」

友達と会話を楽しみながら、どういふ方法で屋根を作るか考えました。

テープの使い方も慣れてきました。どこどこを合わせるとくっつくかもわかってきました。

【言葉による伝え合い・自立心・協同性・思考力の芽生え】



更に、屋根に飾りを付けたいと、飾りを作り始める子もいます。もっといい屋根が完成しそうでワクワクしています。



緊急事態※発生



屋根を並べていると、壁としっかりくっついていなくて…倒れました。

うさぎぐみの「家作り」にはトラブルがとっても多く。何度も失敗を重ねています。子どもたちの反応もおもしろく、「ああ～またやん」と失敗を笑い飛ばすようになり、また次を考えるいい機会にもなっています。倒れた壁を起し、外れた屋根をめくって、「もう一回していい？」と屋根をみんなんで取り外しました。次はどうやって屋根をつけるのかな？

【言葉による伝え合い・自立心・協同性・思考力の芽生え】



はじめは、屋根と壁の接地面が少なく、少し触っただけでも屋根が外れていました。次は、出来るだけたくさん壁とくっつくように並べてみると、こんないいアイデアが出来てきて、一回目よりもしっかり屋根ができました。コツをつかむと、どんどん屋根が並んでいき、かわいいレンガのおうちが出来てきました。このあと、屋根の周りに飾りをつけたいと、飾りチームが頑張って飾りづくりをしています。

【言葉による伝え合い・自立心・協同性・思考力の芽生え】



池の中には何が住んでいるかな？

うさぎぐみ(1月31日)

毎日、試行錯誤しながら作っている「レンガのおうち」。子どもたちには家を作りながら、もう一つ作りたい物がありました。それは…『池』でした。

「家が出来たら、お庭がほしいな」

「お庭があったら、みんなで遊べるやん」

「池やお花があったら楽しいなあ〜」

こんな会話がありました。そして、始めは、空き箱を使って「船」を作る子がいました。

「この船すごいね〜」と見ていると、

「先生、水がないと船が泳げないねん」

そう言って「池作り」が始まりました。池の中には何が住んでいるのかな〜？そんな興味から図鑑を見たり、園の池に住んでいた生き物を思い出しながら、ただ今、『池製作中』です。

【言葉による伝え合い・自立心・協同性・思考力の芽生え】



絵本を見たり、図鑑でしらべながら、水の中の生き物の絵を描いています。



石があったらいいなあ〜そうやって、紙を丸めて色を塗っています。



繰り返し製作をする中で、子どもたちの姿が変わってきました。始めはどうしたらいいかわからず、保育者に聞いたり、やってやると自分からしようとするのが少なかったです。最近では、友達と一緒に「こうかな?」「こっちがいいんとちゃう?」「ここ、持っていてあげる」「出来ひんねやったらやったげるで」と声をかけるようになっていました。困っている子に声をかけたり、出来ないからやってほしいとお願いしたりすることは勇気がいるし、思いをうまく伝えられるかも心配ですが、子どもたち同士で助け合いの輪が広がっています。

【言葉による伝え合い・自立心・協同性・思考力の芽生え】

池の水をカラーポリ袋で貼ったり、池のまわりは草がいいとペンで色をつけています。



ロボットになりたい!

うさぎ組 2月1日



家作りに挑戦していた際に余った段ボールをお腹に巻き付けたれんと君が「先生、ロボット～」とやって来ました。その姿を見た子ども達も「わあ!ロボットや!僕もやりたい。」「私もロボットになる～」と変身願望に火が付き、あっという間にロボットブームが始まりました。【自立心・思考力の芽生え・健康な心と体】

段ボールを円柱になるように紙テープで貼る時やベルトに飾りを付ける時など難しいときは友達や保育士に「ちょっとここ持ってくれる?」「テープ切って～」と上手にお願いをして取り組む姿が見られました。【協同性・言葉による伝えあい】

体にはカラーポリ袋や段ボールを使って作り、画用紙に絵を描いて貼り付けたり、ペンで絵を描いたり、好きなやり方で飾りました。体ができると「ベルトも欲しい」と、ベルトまで作り始める子もいて、どんどん本格的になっています。【思考力の芽生え】



あれれ、前が見えない



これで見えるね♪

ここ持っといて～



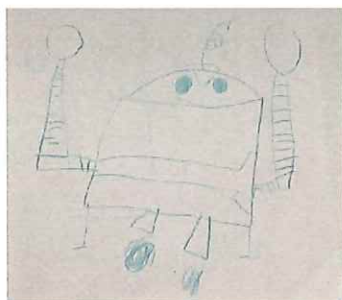
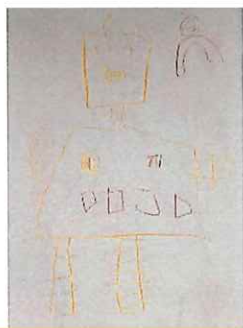
ロボットに変身するの楽しいよ～

自分で考えて頭の色を塗ったり体にも飾りを付けました



新たな仲間が登場！

うさぎ組 2月5日



絵本や部屋に掲示しているロボットの写真をみてロボットの絵を描いてイメージを膨らませていました。

空前のロボットブームがやってきているうさぎ組。前から子ども達作りたかったのは自分たちよりも大きい特大のロボットでした。空き箱で作ったり、絵を描いたりして「こんなろぼとがいいな～」とイメージした事を表現してきた子ども達。いよいよ特大ロボット作りにチャレンジ☆足の部分から体、顔と順番に紙テープで貼って組み立てていきます。次に手や耳を廃材の中から選んできて両面テープを使って貼り、ロボットの本体が完成しました。その後、「先生、ボタンつけよ～」とアイデアが出て、早速数人の子ども達が透明の容器を持って来ました。「せっかくだから色を塗ってもいいんじゃない？」と声を掛けるとそれぞれ好きな色を塗り「これは緊急ボタン」「これは走るボタン」と、説明しながら貼っていました。子ども達の発想で新しいボタンが今後増えていくと面白いなと思っています。今度このロボット君(仮名)に名前を付けようとクラスで話しています。

【自立心・健康な心と体・豊かな感性と表現・協同性】



これが足になるんやで



これをボタンにする～



背の高いロボット君。耳を付けるのも一苦労です。



完成後のロボット君はレんガのおうちの中へ移動。子ども達もロボットに変身してロボット家族という設定でおうちごっこが始まっていました。